

夜のキャンプ場や茂みの多い夜道で、光る2つの物体に驚いたことはありませんか？

暗い場所では、犬や猫の目は光ってみえることがあります。しかし、犬や猫は、ホタルやクラゲとは異なり、発光能力があるわけではありません。では、なぜ光ってみえるのでしょうか。

その理由として、犬や猫の目の構造に大きな特徴があります。犬や猫を含む多くの夜行性の動物は、網膜の裏側に、「タペタム」と呼ばれる反射層を持っています。タペタムが鏡のように光を反射させる役割をしているため、目に入ってきた光が反射して、輝いてみえるのです。

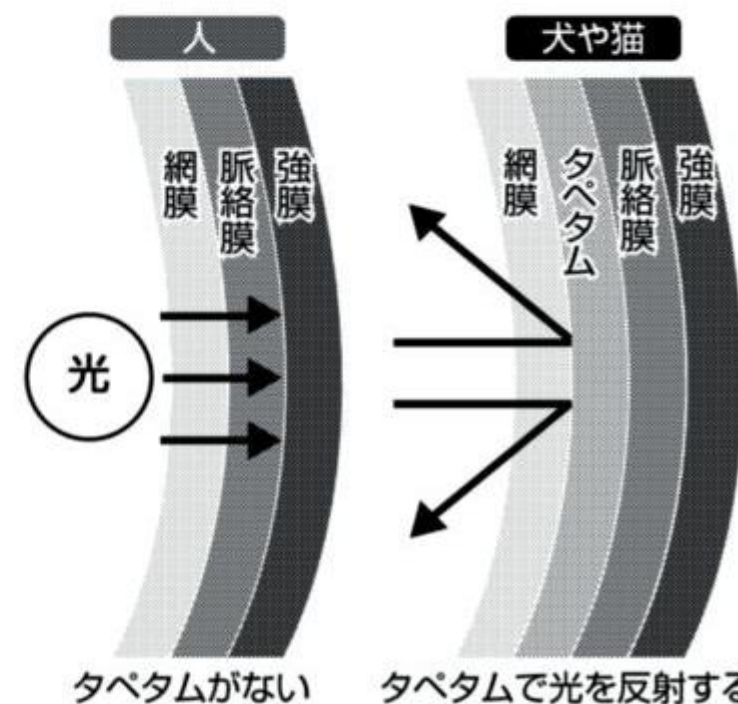
あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ

113

犬や猫の目が光る謎

人にはないタペタムがあるのは、犬や猫が夜行性で、月などのわずかな光を利用するためだと考えられています。少量の光でも、タペタムで反射させて増幅させれば、眼球の中が明るくなり、暗い場所でも安全に行動できるのです。逆に、わずかな光でも強く感じてしまいます。明るい場所では瞳孔を細くして光の量を調整しています。暗い場所で写真撮影するときは、フラッシュは控えた方がよいかもしれません。

夏休みも後半戦。山へキャンプなどに行く予定の人もい



ると思います。夜の山道や茂みで光る物体に遭遇するかもしれません。そんなときは少し周りを見てみてください。散歩中の野生動物に出合えるかもしれません。

(アニコム損保

獣医師 杉浦弘明)